

低炭素社会の構築 [環境にやさしいお買い物]

地球温暖化防止のために温暖化効果ガスを抑制する取り組みが産業界や企業、個人へと広がり、「努力目標」から「責任・義務」とされました。エネルギー問題や運輸・交通対策が推進され、新たに表明された「1990年比2020年のCO₂排出量25%削減」を目標に進みつつあった2011年3月、未曾有の東日本大地震が日本を襲いました。これからの日本の進むべき方向を考えると、「未来の子供達に美しい自然を残したい」願いを実現するため、地球温暖化を防止し持続可能な社会を構築するために、私達一人ひとりがどんな暮らし方をしていくかが問われています。私達のライフスタイルを変えていくことが、地球温暖化防止に大きな影響力をもたらします。

地球温暖化とは

地球環境の現状

CO₂などの温室効果ガス（GHG：Green House Gases）の増加により、地球表面から出てくる赤外線が吸収・再放出され大気中に熱が溜まり、地球温暖化が進んでいるといわれています。本来自然界で発生したCO₂は、森林や海洋による吸収によりバランスがとれていたのですが、人間が化石燃料（石油や石炭、天然ガスなど）を消費するようになり、吸収しきれなくなっていました。

地球の温暖化は、化石燃料をエネルギーとして電気を起こしたり、自動車を走らせたり、冷暖房に使用することによりGHGを排出し、また熱を放出していることが原因です。このまま地球温暖化が進むと、100年後には大気中の温室効果ガスが増え、平均気温が上がり、多くの生き物が生存できなくなるといわれています。

地球温暖化の一番の原因は二酸化炭素!!

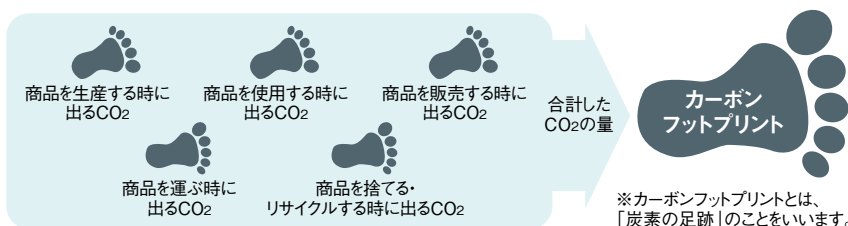


CO₂排出量を減らすための取り組み

CO₂の見える化

私達の生活から排出されているといわれる「民生業務部門」のCO₂。その中で、毎日の食卓に並んでいる食品もCO₂排出に影響しています。例えば、季節外れの野菜や果物は、ハウス栽培で化石エネルギーを使って栽培されていたり、地球の反対側から輸入されていたりと、CO₂排出量の大きな食品が普段の食事に頻繁に出されていたりします。食品に限らず、ユニーで販売しお客様に購入していただいている商品やサービスは、原料の採取・生産・流通・販売・消費・使用後までのライフサイクルアセスメント（商品の一生）を通じて、多くのエネルギーが使われています。そのエネルギーの多くは化石燃料から得られているので、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを大気中に排出しています。

この排出されたCO₂など温室効果ガスの量を数字とマークで表して「CO₂の見える化」を図ったものが、カーボンフットプリント、CO₂の足跡です。できるだけ数値の少ない商品を製造・販売し、そしてお客様に購入していただくことで地球温暖化を防止しようという取り組みです。



カーボンフットプリントの算出

商品の原料の採取・生産・流通・販売・消費・廃棄やリサイクルまでのライフサイクルアセスメントの各段階で排出される温暖化効果ガスが大気中にどのくらい排出されるのかをCO₂換算して、数値で表したものがカーボンフットプリントです。

ユニーでは、2008年度に行われた「カーボンフットプリント制度試行事業」に参加して、環境配慮商品「ecolon」のトイレットペーパーのカーボンフットプリントを算定しました。

